

警備業における建築物、構築物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	17～18	交通誘導警備中、ダンプ後方の車両を止めようと動いた際、路面の仮舗装の段差につまずき転倒し、左膝を強打し、左ひざの皿が割れた。	65～99	50
1	11～12	管路耐震化工事現場にて、交通誘導警備作業の合間に食事休憩を40分取り配置に戻った時に、誤って縁石に躓き転倒し、地面で左足を強打し、大腿骨を骨折した。	72	—
1	20～21	ゲートでの作業終了後、ゲートを閉めようとした際、ストッパーが外れてしまい、扉が閉まって右足に当たり負傷した。	61	—
2	12～13	舗装工事に伴う全面通行止め迂回案内に従事していた。休憩をとろうと、自分の荷物がある場所へ移動（徒歩）したところ、U字溝蓋の破損陥没箇所（段差10cm位）に足を滑らせ後方に転倒しU字溝蓋の角に後頭部を強打する。	69～29	10
2	21～22	満車状態になりつつあった駐車場の車の移動をお願いするために、駐車場の縁を歩いて現場に向かっていた時、誤って幅約1m、深さ約1mの溝に左肩から転落し脱臼した。	66	—
2	10～11	現場である河川上流約100mの右岸堤防法面にて、通行車輛等の交通誘導中、リーダーである被災者が相勤者の勤務状況確認のため堤防に登って確認を行った後、堤防から降りる途中で足が滑って尻もちをついてしまい、負傷してしまった。	65	1～9
3	19～20	駐車場への案内誘導を行っていた際、50m位先に車両が見え、20m位手前まで来たときに車両との接触を避ける為、後ろ向きに下がった。事前に側溝の開口部があることは認識していたが、後ろ向きであったため目測を誤り、深さ1m・巾60cm程の側溝に転落し、左足をくじいてしまった。その時はあまり痛みが無かった	62～49	30

		為、業務終了時間まで業務を続けたが、翌日、痛みで歩けなくなった。		
4	9～ 10	車を誘導中に自転車にぶつかりそうになり、とっさに駐車場花壇に飛び乗ろうとし、雨で足を滑らせて転倒し、顔面右側及び右肩等を強打して鎖骨骨折した。	39	30 ～ 49
6	10～ 11	放置車両の確認業務中、車両の持ち主が戻って来たので、話をしようと振り向こうとした際に、雨で濡れていた路面で足が滑り、尻もちをつく様に転倒してしまった。	61	500 ～ 999
6	9～ 10	国道高架下、道路横路盤工事において、道路停止中のダンプの前方にて、歩行者等の安全確認中、後方に一步下がった時に道路横の溝（高さ約1m、幅約50cm）に転落した。	65	10 ～ 29
7	23～24	夜間現場の鉄塔付近で、被災者は、列車の監視をする列車見張員として作業現場へ向かって移動中、雑草の生い茂った法面上部を歩いていた。被災者は、濡れた雑草に足を滑らせ法面下部の道路脇の擁壁1.3mから転落して受傷した。	43	50 ～ 99
7	2～3	車輛右廻の交通規制をして、右廻路の案内の担当をしていた。道路中央から左寄に看板を立てて私はその左側で待期していた所右方向より車両が接近してきたので運転手に話しかけるべく接近しようと前にふみ出した所前方に溝があり、足がつかずいて左肩より路上に転倒した。たち上がった所左肩に激しい痛みを覚え怪我している事に気づいた。	53	30 ～ 49
7	7～8	作業場内において、廃棄場シャッターを手動で開閉する際に腰を痛め、その後、痛みが激しくなった。	70	1～ 9
7	7～8	整備事業作業所において、始業前の作業所のジャバラゲートを開けようとしたとき、ジャバラゲートの止め金が外れてしまい、そのまま自分の方にジャバラゲートが倒れ、下敷きになり、胸と背中を打ち負傷した。	63	100 ～ 299
9	17～ 18	工事現場の交通誘導業務終了後、置場に駐車してある同僚の車の所へ向かう際に、排水溝の端部の古くなってボロボロの笠コンクリートの上に足を乗せたところ、滑って排水溝に転落し右足すねを強打した。	34	50 ～ 99
		集合住宅新築工事現場に於いて、交通誘導警備作業に従事中、荷降ろしを終えて出		50

9	16～ 17	発しようというダンプ前方の安全確認の為、小走りで公道に出たところ道路の舗装に段差があり、足を取られ、前方に転倒した時、両手、両膝、胸、顔等を地面で打ち負傷する。	67	～ 99
10	9～ 10	大学敷地内に有るATM機に現金を装填に向かう際、現金輸送車を植え込み側に駐車し、植え込み側（助手席）から降りて車両から現金バックを同乗者に渡し、ATM作業に移動する為、植え込みの段差から降りた時、バランスを崩して転倒し、左手首を骨折した。	46	30 ～ 49
10	16～ 17	徒歩にて巡回中、放置車両の確認事務に移行するため、歩道側からガードレールを跨ごうとした際に、左足が同レールに引っ掛かり、車道上に転倒したものの。	62	10 ～ 29
10	14～ 15	進入道山側で裾刈り作業後の草集め中に足場のコンクリートが隆起している部分で体勢を崩し、幅約150mm、深さ約150mmの排水溝へ右足が落ち込み、くるぶし外側を挫いた。	37	30 ～ 49
11	8～9	支社の倉庫プラットフォーム上で、プラットフォームに後ろ向きで駐車した車両に交換用冬タイヤを積み込むために、車両後部ハッチバックを開けようとした際に、よろけて、高さ約40cmのプラットフォームから地面アスファルトに落下し、着地する際に足首を強く捻ってしまった。	30	100 ～ 299
11	15～ 16	工場内通路で修理が必要な機械（クレーン振動機、重さ約100kg）を台車に載せて一人で運搬中（本来フォークリフトで運搬するもの）に台車の後輪が段差にかかり、全体が傾いたため元に戻そうと両手で機械を支えようとしたが、台車ごと倒れて道路床と機械の間に右手を挟み負傷する。	56	100 ～ 299
11	11～ 12	守衛室前で警備業務（立哨中・出入管理）中、粉塵防止の為、ホースで水撒きを行っていたが、来訪者があり臨時入門証を手渡しする際、急いで臨時入門証を渡そうとして段差に躓いた。躓いてしばらくしてから右膝に痛みがあり赤く腫れてきた。	43	50 ～ 99
11	16～ 17	建設現場で、警備業務に当たっていた際に、仮設トイレに行き排尿を済ませ、仮設トイレを出たところで、誤って足元をとられ、高さ1.9m下の駐車場に転落し、上半身を強く打ってしまう。当日現場は、作業の都合上仮フェンスが外れている状	72	10 ～

		態であった。		29
11	15～ 16	お客様店舗の作業終了後、搬入口のプラットフォームから右足を捻った状態で着地し、全体重が乗り激痛が走った。	46	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html